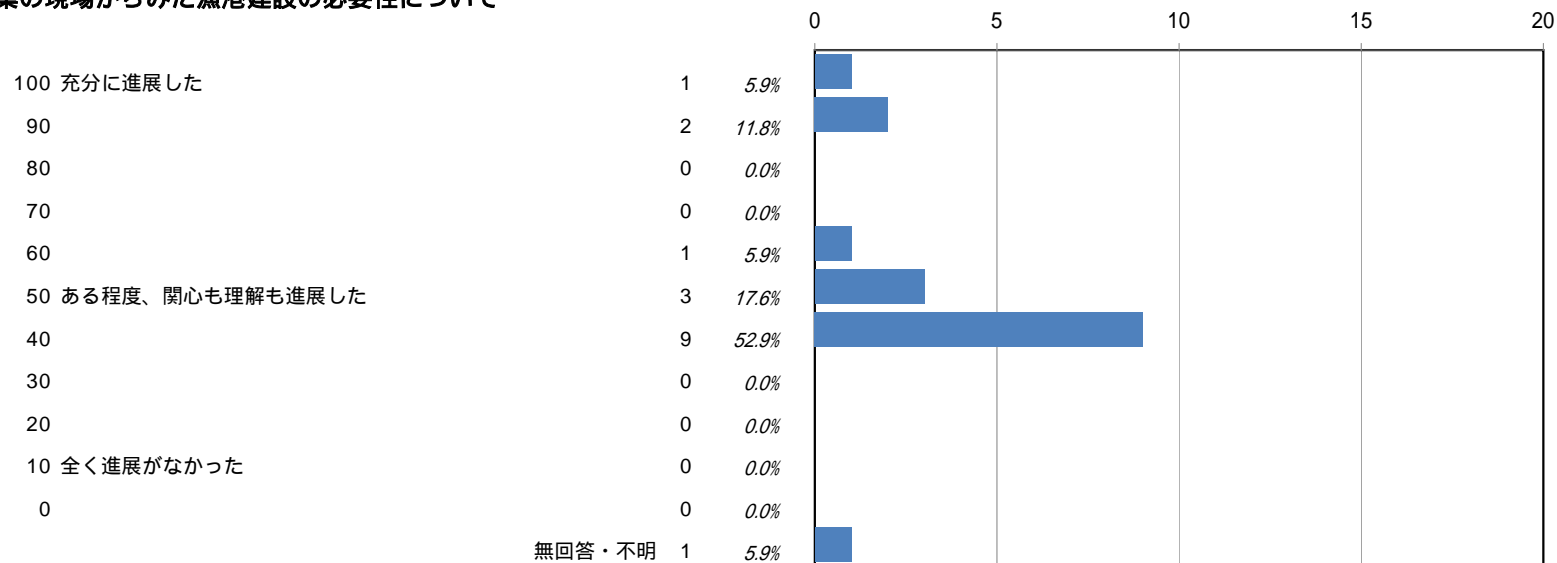
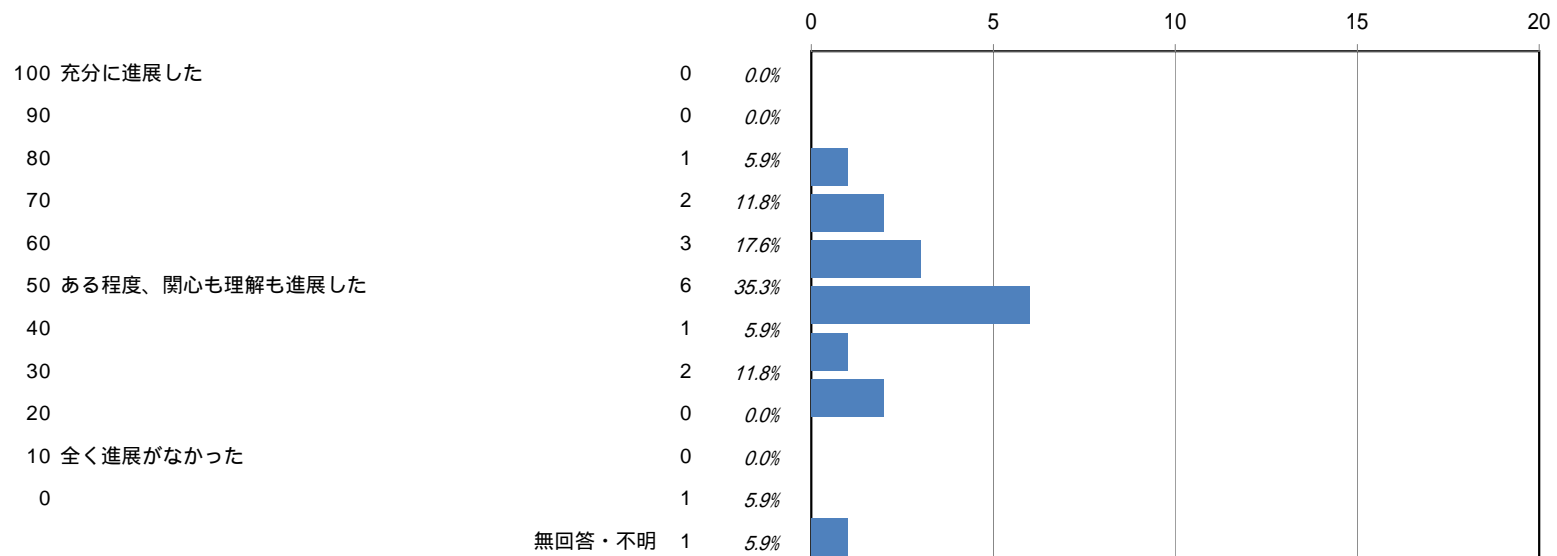


Q1 第3回、第4回のグループワークで話し合った下記の論点について、ご自身の関心や理解はどの程度、進展したと思いますか？

(4) 漁業の現場からみた漁港建設の必要性について

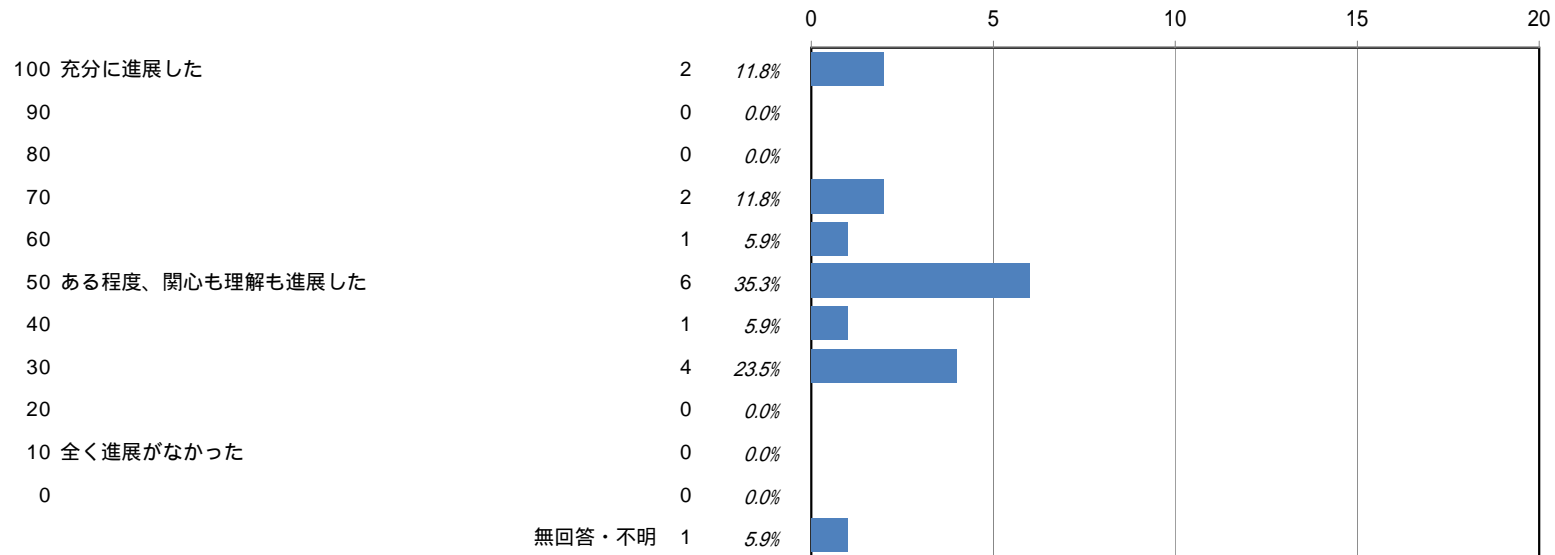


(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい

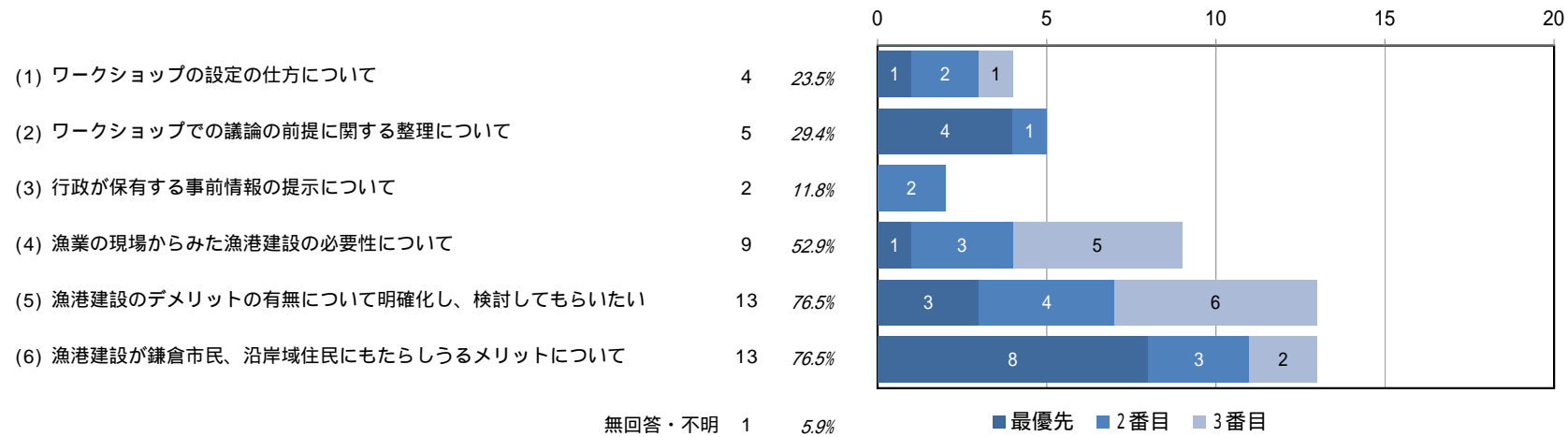


第4回WSでのアンケート調査結果

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて



Q2 第5回ワークショップのなかで、もっと話し合いたいと思う論点は次のどれですか？



Q3 これまでのワークショップを踏まえて、疑問に思うことや確認したいことはありますか？

様々な意見や代替案がある中、それらの案の実現性や具体的な障害の解決の可能性について、説明してほしい。

来年も継続するのであれば、今後の鎌倉の漁業と市民といったテーマでもっと議論の場を提供してはどうか。

漁港を作るという役所のあり方が強く感じる。作らないけどどうするか？とかの意見があっても良いのでは。

WSも4回を数えたので、今年度のWSの「落としどころ」を定める時期に来ている。

- ・議論不足は明白のため、次年度（年度として）継続を切望します。
- ・継続の場合、今回の議論の総括を??に、次年度に資するべきである。

まだまだ時間が掛かると思います。

魚と人（一次産業）と得る人（三次産業）の協力できる道筋は作れるのか。

子供をたくさん参画させる取り組みが出来れば。

お題の出し方として、「誰のためになにをするとどうなるのか」を明確にする必要があると思います。

由比ヶ浜の景観維持につき、一般市民のコンセンサスを得てほしい。

漁業権/漁協/市の境について、融合に向けた動きは不可能か？腰越や小坪を活用した、解決策も検討してほしい。検討済みならその結果を知りたい。

それでも費用対効果が重要。仮に港に20億円、フルに働く漁民が50人すると1人あたり4,000万円、今の時代許されない。漁協も今が漁業の転換点と言っている。

10年20年後漁港がどのように市や市民生活にメリットをもたらすかビジョンがないとこの出費は正当化できない。

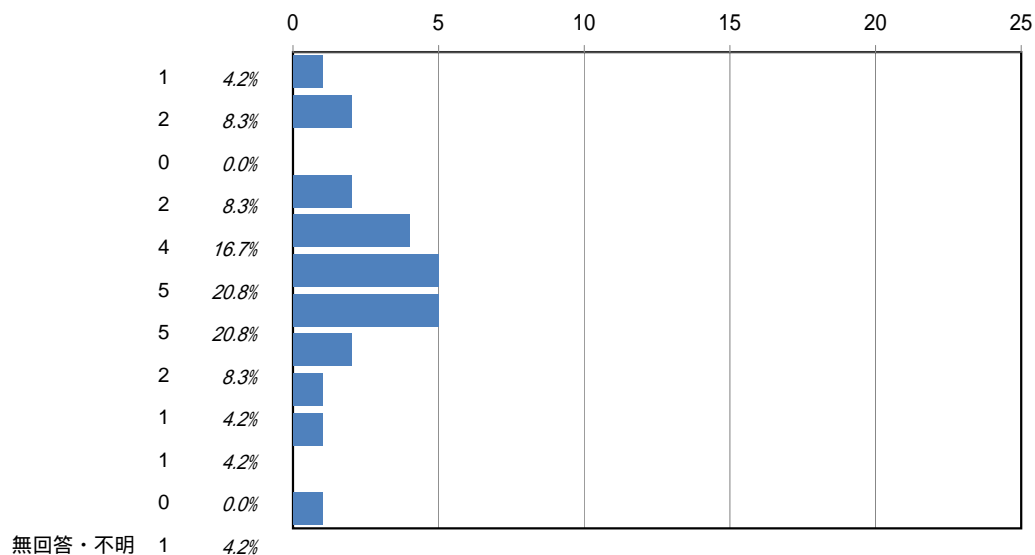
何のために作るのか、提案されている方法がベストなのか、受益者は誰なのか、そしてそれはどのような内容なのか、費用対効果。

第4回WSでのアンケート調査結果

Q1 第3回、第4回のグループワークで話し合った下記の論点について、ご自身の関心や理解はどの程度、進展したと思いますか？

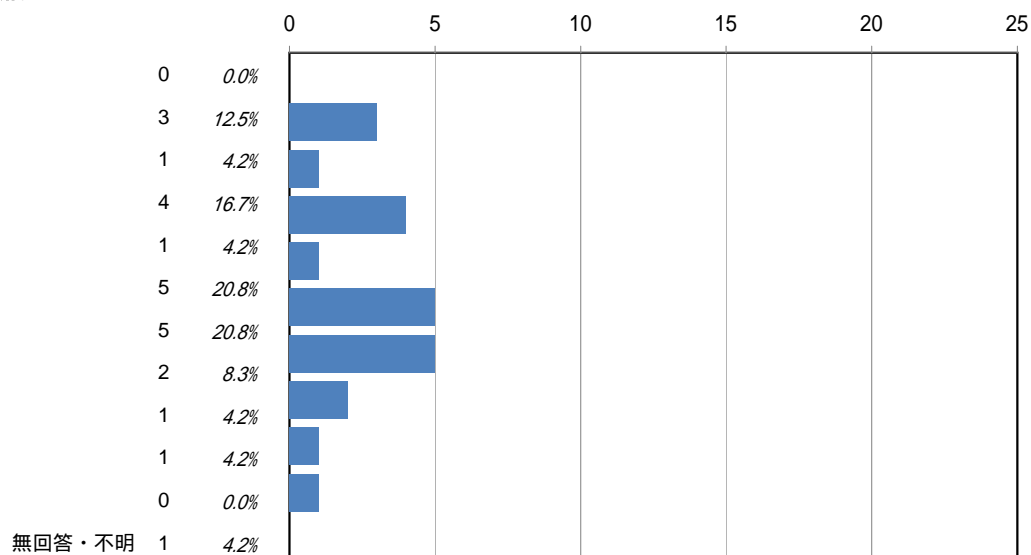
(4) 漁業の現場からみた漁港建設の必要性について

100 十分に進展した
90
80
70
60
50 ある程度、関心も理解も進展した
40
30
20
10 全く進展がなかった
0



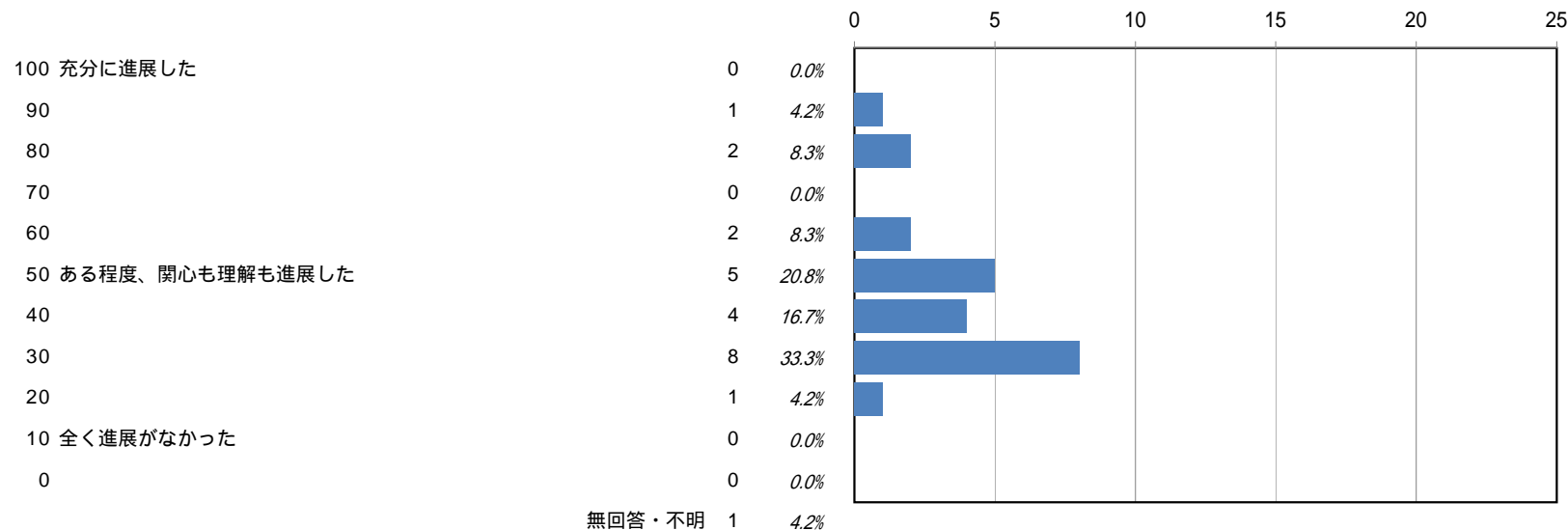
(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい

100 十分に進展した
90
80
70
60
50 ある程度、関心も理解も進展した
40
30
20
10 全く進展がなかった
0

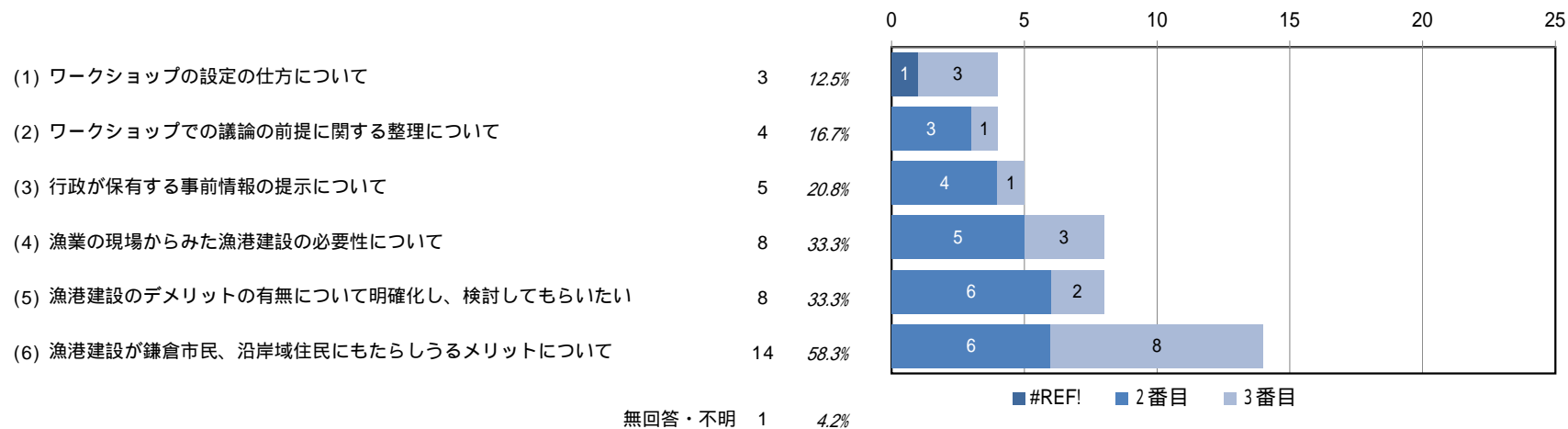


第4回WSでのアンケート調査結果

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて



Q2 第5回ワークショップのなかで、もっと話し合いたいと思う論点は次のどれですか？



Q3 これまでのワークショップを踏まえて、疑問に思うことや確認したいことはありますか？

様々な意見や代替案がある中、それらの案の実現性や具体的な障害の解決の可能性について、説明してほしい。

従来の考えにとらわれないでほしい。

みにくい構造物をこれ以上海岸に作りたくない。

漁港の必要性は理解できなくもないが、優先順位の問題、税金の使い道としては市政としてプライオリティーが高いかどうか。

漁作業の改善策として、港以外の方法も検討したい。

『ワークショップの総意』という報告書にはしないほしい。

(5)(6)について、建設規模が不確定の中では検討できない部分がある。

いろいろな話を聞けて良かった。視点の違いを感じた。

ワークショップで出された提案に対して、市の方が次回まで調べてくるとかないんですね。

漁師は全員が港を建設したいわけではないんだと感じた。水産業を盛り上げるにはほかの手段もあると感じた。

ワークショップのメンバーも傍聴メンバーも同じ情報も持っている。傍聴意見も同等に扱うべき。

(そもそもメンバー構成や告知が疑問だったのだから) 傍聴メンバーの意見を扱ってもらえないと<最初のWSをやるにあたって>に戻ってしまうから。

市の方は建設を前提とし、準備をしているのではないかと強く感じる。

20億の予算が必要。防災・減災対策に力を入れている時期に現実出来でない。

このままで闇雲に漁港建設を進める必要はないことがわかった。ただし、漁業の活性化については市民と漁師が考える。

アセスメントの実施後にワークショップしたい。

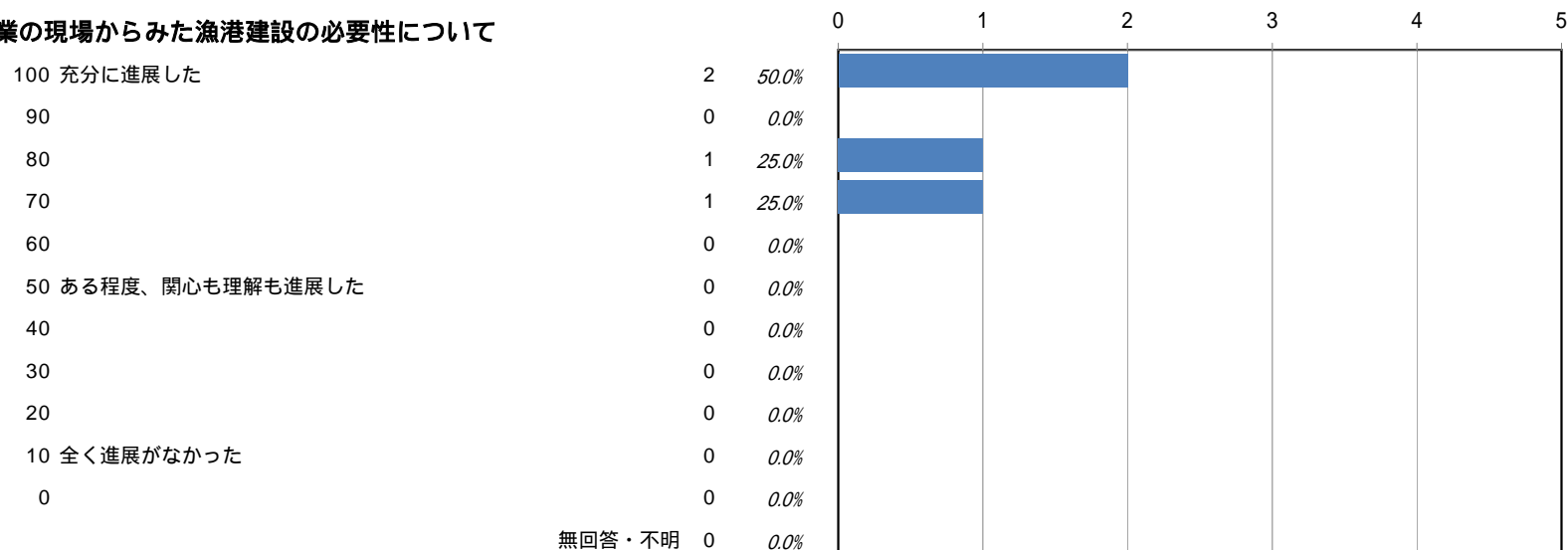
逗子マリーナか和賀江島に作った方が良くないかな。坂ノ下はやめた方が良く思うのです。

漁師さんと達の意見希望は先ず安全。港造りは長期課題であり、先ず出来る安全対策も考えた方が良く。短期的/長期的/未来の子供たちのための課題を分けては？

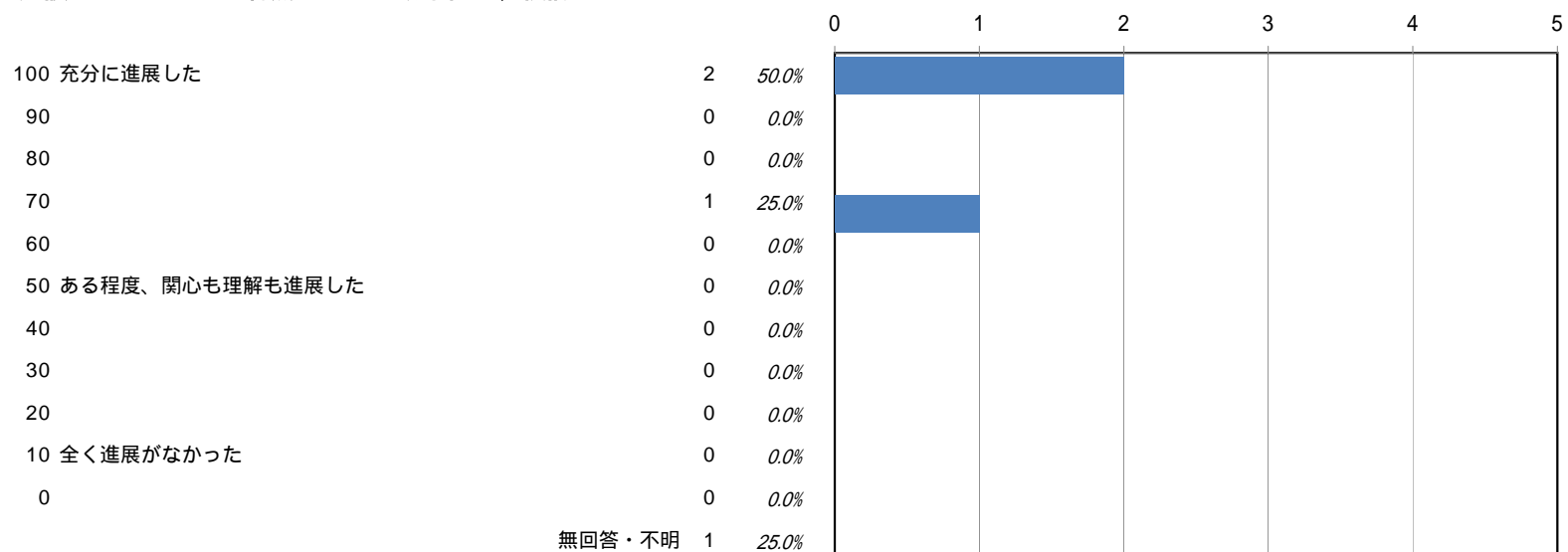
第4回WSでのアンケート調査結果

Q1 第3回、第4回のグループワークで話し合った下記の論点について、ご自身の関心や理解はどの程度、進展したと思いますか？

(4) 漁業の現場からみた漁港建設の必要性について

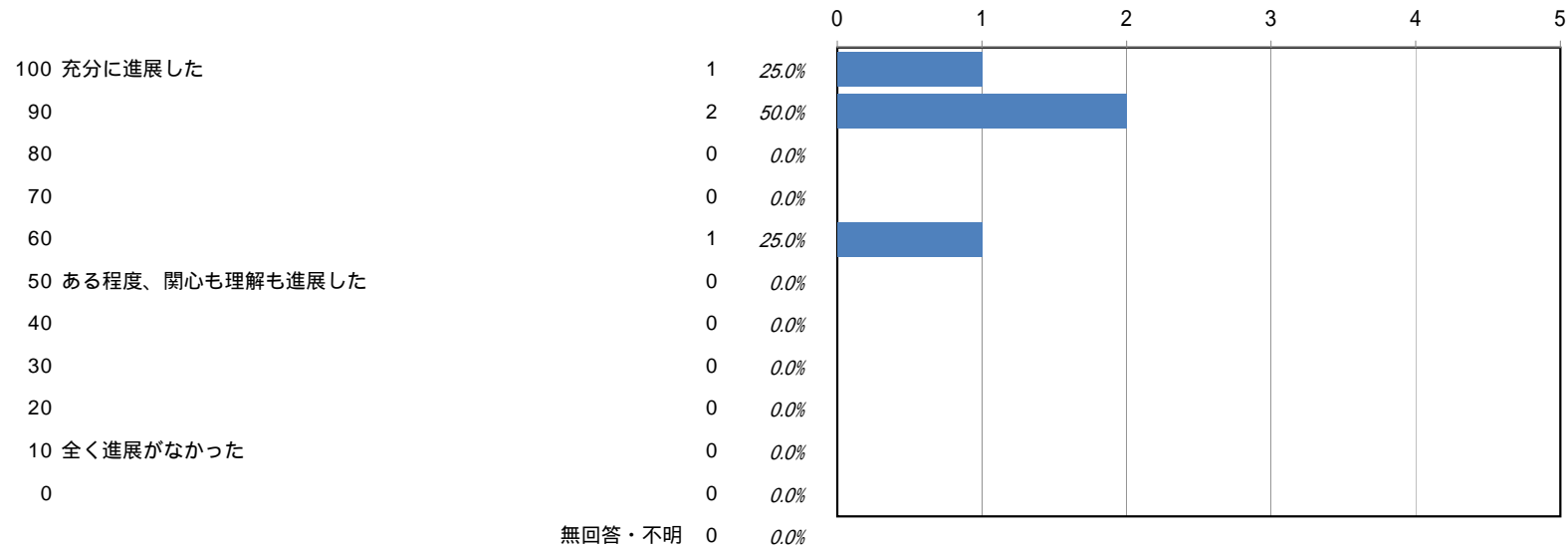


(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい

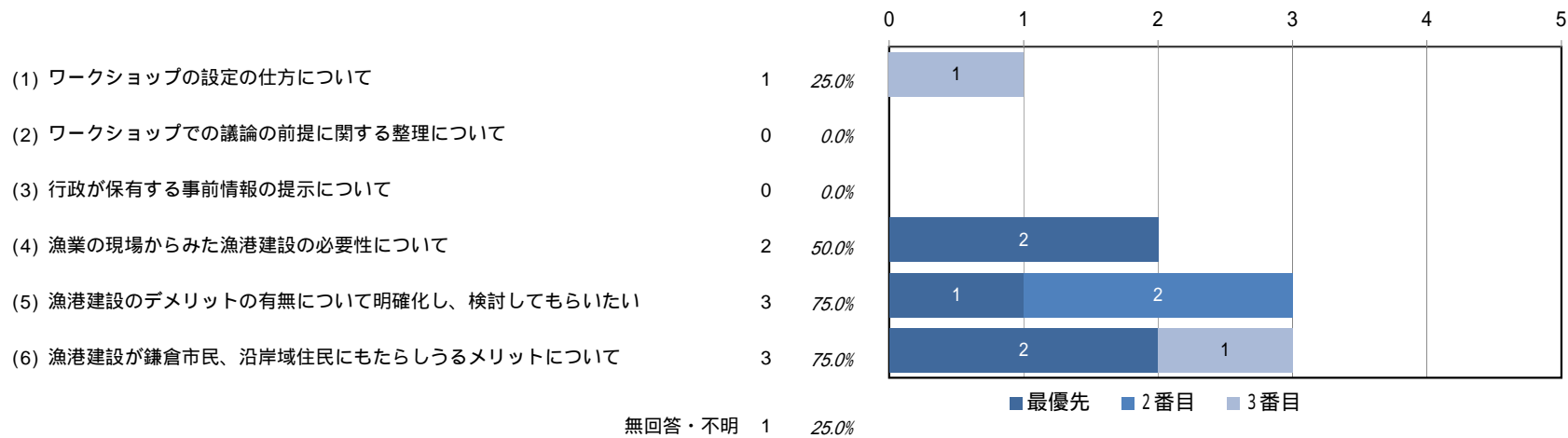


第4回WSでのアンケート調査結果

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて



Q2 第5回ワークショップのなかで、もっと話し合いたいと思う論点は次のどれですか？



【不 明】

第4回WSでのアンケート調査結果

Q3 これまでのワークショップを踏まえて、疑問に思うことや確認したいことはありますか？

今のままだと坂ノ下、材木座の漁師さんはいずれダメになる。なんとか策をうたないと!!
ずいぶん話し合いになってきたので良かった。グループ変更したのはすごくいいですね。